

令和3年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新家庭総合「主体的に人生をつくる」(大修館書店)						
副教材等	最新 生活ハンドブック 2021 資料&成分表 (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

人はそれぞれ様々な価値観をもっており、それによっていろいろな家族や生活の形があることに気づいてほしいと思っています。家庭生活や地域社会を営むためには、男女の協力が必要となってきます。また、ニュースや社会問題にも目を向け、自分なりのライフコースを描き、“賢い消費者”になることが「家庭総合」での目標です。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実績的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るために課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などに関する技術総合的に身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などに関する知識を総合的に身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考查の結果 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考查の結果 レポート、発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考查の結果 レポート、発表、自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	自分らしい人生をつくる	○人の一生と生涯発達 ○青年期の課題と自立 ○主体的に生きるための意思決定	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、自分らしい将来生活の設計について取り組もうとしている。 b: 将来の職業や生活について考えそれらを具体的に描いていくことができる。 c: 人生を有意義に自分らしくすごすために目標と展望をもって生活設計をたてることができる。 d: 充実した人生を送るために、生活時間の配分や計画化および将来の生活への目標や展望が重要であることを理解している。	授業観察 ワークシート 製作物 定期考査
	健康で快適な衣生活をつくろう	○衣生活を見つめよう ○着ごこちのよい被服 ○衣生活の計画と管理 ○被服製作の基本	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 衣服の管理や、健康で快適な衣生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 健康で快適な衣生活について、課題を見いだし、解決方法を考えたり意見をまとめたりすることができる。 c: 被服製作、被服整理などを生活に活かす技術を身に付けている。 d: 被服の機能と着装、被服材料、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作物 定期考査

夏 休 み	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	○ ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	○ ○ ○ ○	a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c: 計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ポート 発表 自己評価 相互評価
2 学 期	子どもと子育てについて知ろう	○ 子どもの誕生 ○ 子どもの成長・発達 ○ 子どもの生活と保育 ○ 子育てと子どもが育つ環境	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 子どもの発達と保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達と保育について、現代の家族が抱える課題を見いだし、その解決方法を考えたり、表現したりしている。 c: 子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表 定期考查

3 学 期	経 済 生 活 を 設 計 し よ う	○現代の消費生活	○	○	○	○	a: 自分が一消費者であること を自覚し、物・サービスの購入 のあり方や消費行動について積 極的に理解しようとする。	授業観察
		○消費者問題の現状と課題	○	○	○	○	b: 消費者の権利と責任、消費 行動と環境とのかかわりに關 する学習を通して、消費者とし て責任ある行動とは何かをま とめることができる。	ワークシート
		○消費者の権利と責任	○	○	○	○	c: 消費者として責任ある行動 をとることができるようにな る。経済計画にかかる実習を 通して、経済的な側面から人生 設計を立てる基本的技能を身 につけている。	発表
		○消費生活における意思決 定	○	○	○	○	d: 消費者としての権利と責任 について認識している。家計と 国民経済の仕組みを理解し、健全 な経済生活について理解で きる。契約・問題商法に関する 知識を身につけている。	定期考查
		○家庭の経済生活	○	○	○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
 c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。